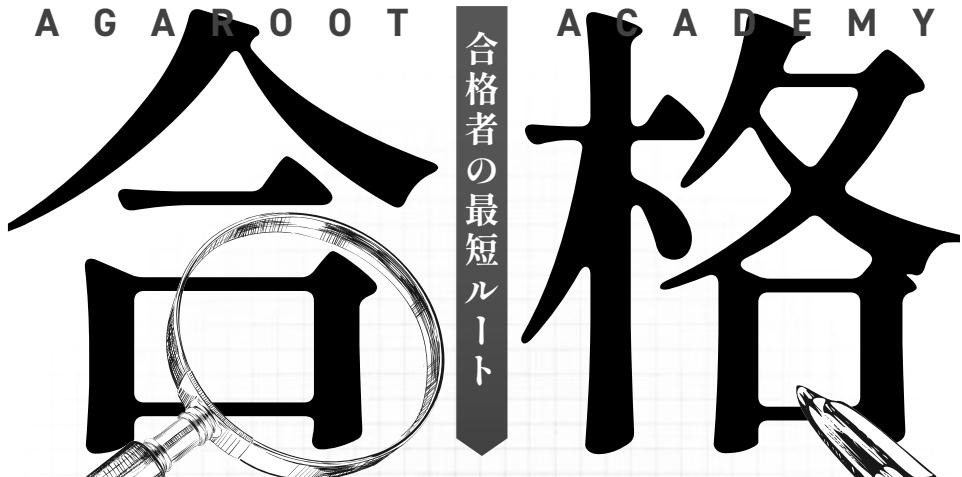


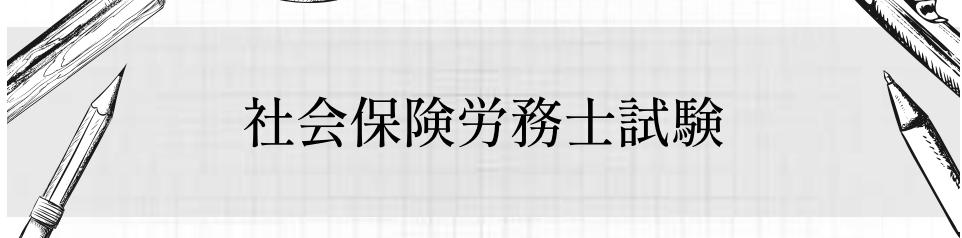
A G A R O O T

A C A D E M Y



合格者の最短ルート

社会保険労務士試験



令和4年～令和7年合格者

体験記



令和7年 社会保険労務士試験合格

一発

どんなに疲れていても机に向かうことを日課にしました

小森 将司さん

2025/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間 : 13ヶ月以上

社会保険労務士試験の受験回数 : 1回目

社労士試験を目指した理由・契機

昨年キャリアコンサルタントの資格を取得し、自身のキャリアや働く人の支援について考える中で、労働関係の法律をより深く理解したいと思うようになりました。

また、テレビで社会保険労務士の仕事が紹介されているのを見て、法律知識を生かして人や企業を支えるその仕事に魅力を感じ、挑戦を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

知り合いから「社労士試験は独学より通信講座の方が絶対に良い」とアドバイスを受け、いくつかの予備校を比較しました。

その中でアガルートアカデミーは、テキストのボリュームがあり、試験対策として万全だと感じました。

さらにテキストもフルカラーで見やすく、サンプル講義を視聴した際も、講師の先生方の説明も非常に分かりやすかったため、受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私の勉強時間はおよそ1600時間で、平日・休日を問わず、日によってまちまちではありましたが、1年間を通してコツコツと積み重ねてきました。特に意識していたのは「継続すること」と「学習内容を一元管理すること」です。勉強方法としては、まずアガルートのテキストを中心に据え、過去問など、他の教材で分からなかった内容や重要だと感じた箇所は、すべてテキストに書き込みました。これにより、自分だけのオリジナル参考書が完成し、復習もしやすくなりました。

また、自分なりの工夫として「オリジナル問題の作成」も行いました。過去問を解くだけでなく、その空きスペースを活用して、過去問には出題されていないけれどテキストで理解が曖昧な部分、不安に感じる部分を、自分で問題形式にして書き込んでいきました。これを繰り返すことで、知識の整理や理解の定着が進み、試験本番での応用力も高まりました。

合格できた理由としては、もちろん運の要素も少なからずあると思います。しかし、どんな日でも「少しでも勉強する」という姿勢を崩さなかったことが、一番の合格の要因だと思います。どんなに疲れていても机に向かうことを日課にし、1日1日を大切に積み上げてきたことが、最終的に合格という結果につながったのだだと感じています。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義を一通り受けてみて、社労士試験全体の構成や出題範囲、各科目の位置づけをしっかりと把握することができました。

最初は法律ごとの関係性や用語に戸惑う部分もありましたが、基礎講義で全体像をつかんだことで、その後の学習の道筋が明確になりました。

また、語呂合わせビジュアル暗記法も活用させていただくことで、非常に暗記に役立ちました。

総合講義に入る前に基礎講義を受けたことで、内容の理解が格段にスムーズになったと感じています。

各制度の目的や仕組みなど、土台となる考え方を丁寧に解説していただいたおかげで、応用的な内容にも自然とつながりを持って学べました。

基礎をしっかりと固めることの大切さを実感できた講義でした。

池田先生ありがとうございました！！！

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義では、基礎講義で学んだ内容をもとに、より理解を深めることを意識して取り組みました。私は基本的に各回を「1回だけ視聴する」方針にしており、同じ講義を何度も見るよりも、1回の視聴で集中して吸収することを重視しました。そのため、竹田先生が講義中におっしゃっていた重要なポイントや説明内容は、ほぼすべてメモに残しました。繰り返し視聴するよりも、自分の手でまとめてることで記憶に残りやすく、後から見返す際に効率的に復習できたと感じています。

講義の内容自体は非常に充実しており、1コマごとに情報量が多く、最初のうちは「まだ終わらないのか」と感じることも正直ありました。しかし、科目を終えるごとに達成感があり、少しずつ積み上げている実感がモチベーションにつながっていました。特に印象に残っているのは、最終回の講義で竹田先生から「ここまで頑張ってきた皆さんへ」というような労いの言葉をいただいたことです。その言葉がとても嬉しく、最後まで頑張って勉強を続けようという前向きな気持ちを強く持つことができました。

総合講義を通じて、単なる知識の習得だけでなく、「どのように学ぶか」という勉強ス

令和7年 社会保険労務士試験合格

講師の良さがアガルートの決め手

関 浩志さん

2025/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：5回目以上

社労士試験を目指した理由・契機

もともと私は損害保険会社勤務で、社労士や行政書士、税理士向けの専門職業人賠償責任保険の査定の仕事をしていました。その業務に役立てようと思い、まず行政書士試験にチャレンジし、合格後、社労士試験の合格を目指していました。また、資格を定年退職後のセカンドキャリアに役立てたいという気持ちもありました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

社労士試験に合格した会社の後輩のおすすめでした。おすすめの理由は、①講師陣がよい、②給付金対象にはならない（※原稿作成当時）が受講費が高くない、③受験経験者用のコースもある、というもので、使用済みのテキストも一部貸してくれました。テキストの内容も充実していると思いましたので、アガルートの中上級カリキュラムを受講することにしました。

合格体験記・学習上の工夫

行政書士は半年ほどの独学で一発合格できたのですが、社労士は7回目の受験（アガルートを受講してからは2回目）でようやく合格できました。その経験で言いますと、社労士試験は向き・不向きのある試験だと思います。学問的なレベルはそれほど高くなく、せいぜい高校生レベルです。しかし、勉強方法や解き方にはコツというか、力の入れどころがあると思います。私の意見として、社労士試験の選択式はクイズ、択一式は間違い探しです（これに気づいてようやく合格しました）。クイズや間違い探しを、限られた時間でなるべく正確に、数をこなしていくといけません。特に択一では、届け出の期限が「5日以内」なのか「10日以内」なのか、「ねばならない」のか「努めねばならない」のか、

間違い探しのポイントをしっかり暗記したうえで、本番では一つの文章の中にある間違い探しポイントを見極めてどんどん正解を選んでいく必要があります。これらが好きな人は社労士試験に向いています。おそらく、社労士の仕事が、正確性・ルールや締め切り順守・迅速性重視の仕事なのだと思います。

一方、理論や理屈を深く考えすぎる人は要注意です。社会保険制度の仕組みを理屈で理解していても、問題は解けません。理屈はざっくり、暗記はしっかりとです。とは言え、学習が進むにつれて、法律条文の哲学のようなものがだんだんわかってきます。届け出の期限や義務・努力義務なども一定の秩序によって決まっているのであり、でたらめ・ばらばらに定められているわけでもないです。

それから、他の資格試験では過去問を完璧にしておけば合格できる試験が結構ありますが、社労士については過去問を完璧にしても、本番ではおそらく半分も解けません。過去問で問われたことだけを押さえのではなく、過去問で出てきたエリアを押さえなければいけません。その意味でも、項目ごと・エリアごとに、テキストと問題集を何往復もして知識を厚くすることが学習の基本です。テキスト、問題集片方だけでは合格できません。

各法律の条文については、テキストに載っている範囲で押さえておけば一応十分ですが、例えば健康保険法で、全国健康保険協会の理事がどうしたとか、財務諸表がどうこうという話が、条文そのままの形で出題されることがあります。余裕があれば、そういう条文自体を何回か読んでおくとお得です。

なお、社労士試験は範囲が広くて科目別最低点がありますので、運試し、あるいは博打的な要素があることは否定できませんが、学習の範囲と深さを広げていくことで、運試し要素は最小限にできると思います。

本番では、テキストに載っていないかった問題も必ず出ます。しかし、テキストに載っていないような問題は解けなくても大丈夫、合格できます。載っていることをしっかり押さえていきましょう。

最後に、私は歳のせいもあって、どうしても覚えられない数字、すぐに忘れてしまう項目がありました。1か月経過すると本当にかなり忘れてしまうので、テキストに付箋を貼って、復習してから2～3週間以内にもう一度学習し、忘れ去らないよう心掛けていました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

中上級カリキュラムのテキストは入門総合カリキュラムと同じで、講義時間は8割くらいらしいです。そのため、講師が講義の中で「条文を読みあげる」ことはあまりありません。条文部分も含めて、講義を聞く前にテキストを予習しておくことをお勧めします。

講義時間が8割でも、各科目15時間以上で結構ボリュームがあります。聞き切るだけでも結構大変で、聞くだけで満足してしまいがちですが、それだけではもちろん問題は解けません。少なくとも章ごとに過去問集や中上級問題集の問題を解いて、できなかつたところ、大切なところはテキストに戻って押さえ直します。この繰り返しです。

人によって、話を聞く方が頭に入る人と、文章で読んだ方が効率がいい人がいると思い

令和7年 社会保険労務士試験合格

語呂合わせで楽しく学習が進みました

藤元 明日香さん

2025/ 社労士試験 / 速習カリキュラム

カリキュラムの学習期間：4か月

社会保険労務士試験の受験回数：2回目

社労士試験を目指した理由・契機

知名度もあり、また興味がある分野であったことからいつかは取ってみたい資格でした。2年前に一度チャレンジしましたが、範囲の広さと暗記量に挫折。他の資格に合格した事を機に、ある程度勉強習慣ができた今ならいけるかもと思い、チャレンジすることにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

2度目のチャレンジとはいえ、思い立ったのが3月末とスタートとしては遅かったです。なのでできるだけコンパクトな講座を探していたところ、こちらを見つけました。当初は独学にしようかなと思っていたが、体験時に拝見したテキストがかなり詳細に書かれており、これなら続けられそうと感じ、アガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

前回のチャレンジでは、試験のちょうど1年前から勉強を始めたものの、最初に受講した基礎講義でその内容の膨大さと暗記量の多さに圧倒され、ほとんど勉強が進まないまま本試験を迎えてしました。当然ながら結果は不合格。長期間継続的に勉強することは私には向いていないと感じ、2度目の挑戦となる今回は、短期集中で一気に仕上げることにしました。限られた時間しかない分、試験当日まで覚えた内容を保てると前向きに捉え、焦りをモチベーションに変えて勉強しました。社労士試験は理解力も求められますが、やはり膨大な暗記量が合否を分ける試験です。わからないところが出てきても、まずは暗記して、あとから整理するスタイルで、ひたすら知識を頭に詰め込みました。仕事をしながらの勉強でしたので、机に向かえない時間も、通勤中や入浴中などのスキマ時間に頭の中

で反芻し、常に勉強モードを保つよう意識しました。また、模試も、合格点を取れたことはありませんでしたが、「今覚えたことが試験に出る」と信じて最後まで粘りました。その結果、当日は「まあ落ちてもスタートが遅かったし、ここまで頑張れたならそれでいいか」と逆に落ち着いて問題に向き合え、合格することができました。

速習総合講義のご感想・ご利用方法

私はまずは全体像ができるだけ早く把握し、アウトプットに多くの時間を割くという方針で進めました。本講座では講義を短期間で集中して視聴し、その後は過去問や模試などの演習を中心に学習を行いました。この講座自体が「早めにインプットを終わらせ、アウトプットで仕上げる」という構成になっていたため、自分の学習スタイルと非常に合致しており、スムーズに取り組むことができたと思います。特に印象に残っているのは、講師の方が紹介してくださる数々の語呂合わせです。単なる暗記ではなく、覚えにくい条文や数字をユーモアを交えて記憶に残るように工夫してくださるので、勉強が苦痛にならず、自然と知識が身についてきました。さらに、単に「こう覚えましょう」で終わるのではなく、「なぜそうなるのか」といった背景まで丁寧に説明してくださる点も非常にありがとうございました。また、デジタルブックの存在も大きな助けとなりました。スマートフォンやタブレットで手軽に閲覧できたため、「あの単語、どの科目で出てきたっけ?」と疑問に思ったときすぐに検索でき、横断的な確認が容易でした。社労士試験では科目をまたいだ知識整理が非常に重要ですが、デジタルブックのおかげでこの「横断整理」を効率よく行うことができ、得点力を高めることができたと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

上記の通り、社労士試験では各科目で似たような規定や数字が登場するため、それらをどれだけ横断整理できるかがポイントである気がします。しかし、自分で一から整理しようとすると膨大な時間がかかりますし、そもそも私は時間がなかったので必要なところだけ覚えたいと思いました。そこで活躍したのが、この講座でした。すでに要領よくまとめられていますし、短時間で横断確認ができたので非常に助かりました。模試や過去問を解いたあとも、まずはこのテキストで該当箇所を確認し、知識を整理するようにしていました。おそらく試験勉強中、最も開いた回数が多かったテキストだと思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座を見始めたのは、確か試験の2週間前くらいだったと思います。最初は「今さら大丈夫かな」と不安もありましたが、結果的にはこのタイミングが自分には合っていました。直前期に頻出部分である法改正ポイントを集中して学ぶことで、内容が頭にしっかりと残り、本番でも鮮明に思い出すことができたからです。時間が限られている方ほど、直前期に復習のつもりで講義を視聴するのもありだと思います。講師の方が重要箇所を明確に示してくれるため、無駄がなく、短時間でも効率よく整理できました。おかげで試験直前の不安を減らし、自信を持って本番に臨むことができました。